

いわき市遠野町

遠野和紙・楮を活用したデザイン提案

会津大学短期大学部プロダクトデザインゼミ

遠野町について

いわき市遠野町では、伝統産業として遠野和紙が受け継がれています。

遠野和紙について

遠野和紙は、約400年の歴史を持ちます。しかし、洋紙の普及で職人が減り、2010年に最後の職人が廃業しました。2022年には住民有志の保存会が設立され、伝統の継承に取り組んでいますが、スタッフの高齢化に悩まされます。



今年度の活動内容



和紙製作工程に関する座学・実技講習



保存会の方々との話し合い

話し合いより分かった点

スタッフの高齢化

楮の畑管理から紙
漉きまでの工程が
人手不足

保存会の主な収入源は
不足している
(ボランティア活動)

話し合いの中で出たアイデア

収入源の確保により、ボランティア募集に必要な経費へ充当する。

- ①和紙グッズ制作・販売
- ②体験ワークショップの運営

今年度の活動内容



和紙グッズのデザイン・製作



保存会の方々に向けて作品発表

昨年度に引き続き、和紙雑貨「紙日和」の製品提案・テスト販売

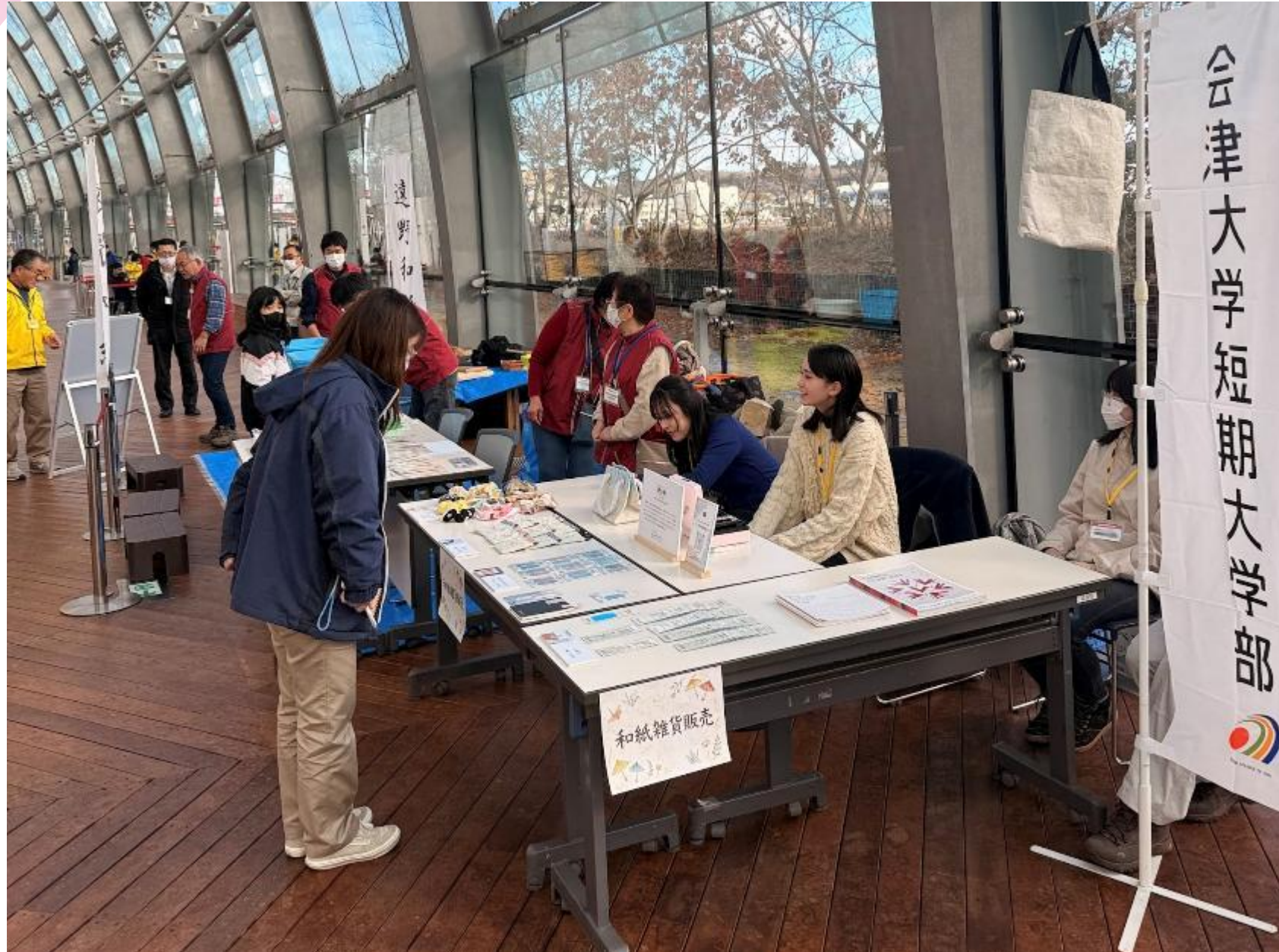
紙日和

手触りが伝える自然と伝統の美

紙日和は、日本の伝統的な和紙の美しさと、現代のライフスタイルをつなぐブランドです。和紙が主役の日常をイメージで、親しみやすく、雑貨全般にマッチすることを考慮してネーミングしました。古来の工法・原料で作られた遠野和紙の質感や繊細さ、温かみや耐久性を現代の生活に取り入れ、使うたびに心に安らぎをもたらす製品を提供します。



テスト販売の様子



テスト販売の様子

アクアマリンふくしまにてテスト販売を実施

今後について

和紙グッズ制作・販売

いわき市遠野町近隣の婦人会などに制作をお願いし、作業を分担する

体験ワークショップの運営

「じゃらん」などの体験型プラットフォームを活用して、テスト運営をする



ご覧いただき
ありがとうございました

会津短大 プロダクトデザインゼミ